

平成27年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力

「セントラル地区ラディセレ中等学校保健室棟建設計画」引渡式の実施

在ボツワナ日本国大使館

平成29年6月21日

平成29年6月9日、平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「セントラル地区ラディセレ中等学校保健室棟建設計画」の引渡式がラディセレ中等学校にて行われました。

本案件は、当国首都ハボロネの中心部から車で約2時間半の距離に位置する、セントラル地区ラディセレ村において、保健室棟（総面積約66平米）を建設したものです。同資金協力により、被供与団体であるラディセレ中等学校に対して、41,391米ドルが供与され、同保健室棟が建設されました。ラディセレ中等学校では約600名の生徒が学び、うち約半数の生徒は敷地内の寮で生活していますが、これまで保健室にあたる部屋がありませんでした。本案件の実施により、学業の向上のほか、HIV/AIDS や早期妊娠といった思春期の生徒たちを取り巻く問題の減少に寄与することが期待されています。

引渡式において、尾西雅博大使はスピーチを行い、「昨年は日本とボツワナは外交50周年を刻んだところであるが、本保健室棟が2国間の友好の証となることを願っている」と述べました。これに対して、生徒たちから謝意を表す歌やダンスが披露されたほか、セントラル地区パラペ地域支部プテェホ議長をはじめとする出席者からも、感謝の意が述べられました。引渡式の様子は当地の日報のほか、国営テレビニュースにも取り上げられました。



(写真) 完成した保健室棟のテープカットを行う
尾西大使



(写真) 尾西大使、及び式典出席者たち